

①マネジメント人材と②廻拠点運営人材の性質に応じ、廻拠点業務と、中長期的に相良村で実現したい課題解決・価値創出業務のバランスを調整。役割を明文化し募集に備える

業務の全体概要

① マネジメント人材の担当業務

② 廻拠点運営人材の担当業務

(地域活性化起業人・地域プロジェクトマネージャー・地域おこし協力隊※)

(地域おこし協力隊※)

廻拠点業務

- 施設予約管理（キッチンや体験アクティビティ等の利用申込受付）
- 拠点施設内清掃
- 相良村住民の利用促進（利活用方法の認知度の向上）
- 体験アクティビティの安全対策（実施過程で検討）

後方支援

- 主たる活動拠点とする
- 人材の主旨に合わせ、複数存在する業務の1つとしてサポートを実施
- 特に、住民の利用促進や広報等の後方支援を中心に取り組むことを想定

メイン業務

- 主たる活動拠点とする
- 人材の中核的な業務と位置づけ、原則として常駐
- マネジメント人材や、他の一般人材と連携して取り組む

村の課題解決・価値創出業務

- 川辺川の水を活かした商品開発
 - 水の販売活動
 - クラフトビールの開発
- 地域産品を用いた商品開発や販路開拓を通じた産業活性化
 - 相良茶のブランドを活用した地域振興
 - 木材ブランド発信と産業振興
 - 清流米（ヒノヒカリ）ブランドを活用した地域振興
 - 飲食を基軸とした短期滞在価値の向上
 - 畜産事業を活かした地域振興
 - 鮎事業（養殖等）の事業継承
- 地域の課題解決
 - 公共交通の再編
 - 空き家活用
 - 健康寿命の延伸
 - 宿泊・温浴施設の再編を通じた長期滞在価値の向上

メイン業務

- 人材の強みに応じ、主体的に取り組む領域を調整する
- 既存の取り組みに入り込み、横ぐしを指した村全体の活動を強く期待する
 - さがらムーブとの連携・調整
 - 相良村役場関係各課との連携

周辺の関与

- 人材の関心（応募動機）に応じ、取り組むことを想定
- 地域関係者の中に入り込み、活発に取り組むことを期待
- 調整や連携の最終判断・窓口はマネジメント人材を想定するため、独力で連携を遂行することは想定しない

★「村と協働し、村が提供する設備を利用しながら主に拠点の管理運営を行う」というあり方を明記することが重要であることを確認（2025.12.25定例会より）

※団体委託で募集する地域おこし協力隊をマネジメント人材とする場合は、選考過程で振り分ける想定（選考フローや委託契約については受入団体との協議が必要）